

NEW

御堂筋

CITY PAPER

昭和45年10月5日創刊
 発行 株式会社ファッションビジネス
 深堀 正晶
 〒542-0081 大阪市中央区南船場
 1丁目9番24号 Studio南船場801号
 TEL: 06-6260-0071 FAX: 06-6260-0037

編集 UPPERS Co., Ltd.
 〒541-0059 大阪市中央区博労町3-6-12
 TEL/FAX: 06-6282-5138
 http://mido-suji.com
 E-mail: voice@mido-suji.com

掲載記事、写真、イラスト等の無断掲載を禁じます。

INDEX

◇大阪 おおさか Osakaの街	1面
◇カルロス・クライバーに恋をして	3面
◇未来につながる食育のすすめ	4面

御堂筋の元気な...
 藤田 真紀さん(24)
 岡本 麻未さん(17)

撮影場所 道頓堀極楽商店街前
 撮影日 平成20年9月12日

義理と人情のまち「道頓堀」の魅力、道行く人に笑顔で紹介しています。




テーマパークを彷彿させる舞洲ごみ焼却工場

Please join us!

大阪 おおさかの街

— for the city of Osaka —

ごみ処理の安全とその恩恵 見直したい日々の生活

日々を快適に過ごすのに、欠かせないのが「ごみの処理」。役に立たないモノ、不要なモノを捨てる事が当たり前になってきた近年の生活形態を、ごみ処理場は支えています。都市部では、処理場の立地や処理方法には、特に注意を払わなければなりません。後始末をお願いするばかりでなく、自分の出した「ごみ」の行く末と実際を知るため、大阪市此花区にある焼却施設「舞洲工場」を訪ねました。

ごみ処理場の歴史

100年ほど前までは、ごみは家庭で埋めたり燃やしてしまっていました。処分になると空き地や川に捨てるようになり、大抵は明神川に捨てられていました。大抵は明治33年(1900)から市役所がごみを集め始めますが、当時は、環境への配慮も乏しく、ごみを海に廃棄する事もありました。当然、公害問題が各地で起き、大抵はごみを焼却するため、昭和38年(1963)に、住之江区に日本初の機械式焼却場を建設しました。現在、大抵は10カ所の焼却施設でごみを処理しています。

持続可能な循環型都市へ

大抵で1年間に燃やせるごみは160万トンを超え、焼却処分には頼るだけでは問題解決になりません。環境に負荷をかけず、資源の再利用を踏まえた「持続可能な循環型都市」の実現が必要になっていきます。此花区に最新技術を導入した焼却施設「舞洲工場」があります。一見、テーマパークかと思う建物です。オーソドックスな芸術家、フリーデンストライヒ・フンデルトヴァッサーさんのデザインによる建物は、工場は汚いというイメージを払拭し、ごみ処理を住民に理解してもらう一役を担っています。予約見学制度、館内は小学生にでもごみ処理が分かるように、工程模型を配置し係員が丁寧に案内してくれます。ここでは、私たちが出す一般ごみの処分について触れてみたいと思います。

焼却のしくみと公害対策

収集車で集めてきた燃やせるごみをごみピットに貯め、クレーンの遠隔操作で投入ホッパに運び、焼却炉で燃やします。燃やした灰は埋立地に運んで造成地に利用するのですが、焼却時に排出する煙の無害化とごみ処理のエネルギーを循環させているのが同工場の特長です。ごみを燃やすと燃やせるごみは160万トンを超え、焼却処分には頼るだけでは問題解決になりません。環境に負荷をかけず、資源の再利用を踏まえた「持続可能な循環型都市」の実現が必要になっていきます。此花区に最新技術を導入した焼却施設「舞洲工場」があります。一見、テーマパークかと思う建物です。オーソドックスな芸術家、フリーデンストライヒ・フンデルトヴァッサーさんのデザインによる建物は、工場は汚いというイメージを払拭し、ごみ処理を住民に理解してもらう一役を担っています。予約見学制度、館内は小学生にでもごみ処理が分かるように、工程模型を配置し係員が丁寧に案内してくれます。ここでは、私たちが出す一般ごみの処分について触れてみたいと思います。

空気と余熱の再利用

舞洲工場は1日に9000トンのごみ処理能力があります。一日も休まず24時間フル稼働しており、エネルギーの効率利用は不可欠です。ごみを燃やした際には、多くの空気が必要で、舞洲工場では、臭気を含んだごみピット内の空気を、焼却炉に送り込んでいます。起動時は天然ガスを使い、その後、通常運転になると、後は送り込んだ空気だけで燃やせる事ができます。

工場は24時間フル稼働。クレーンは、ひとつかみ約12t。

ごみピット内の空気を、ここで内部の気圧が外部より低くなり、臭気も漏れないようにしています。さらに、高温で発生した蒸気で蒸気タービン発電機を運転し、所内で使う全電気を賄っています。余剰電力は電力会社に売電し、平成18年度では約6億円の電力を生み出しました。これは16万7千件の家が1年間で使う電力に相当します。この余熱利用はサーマル・リサイクルと呼ばれ、温水プールや団地の暖房に利用している工場もあります。

私たちが何気なく出すごみのゆくえについて簡単に触れましたが、ごみは何らかの資源から作られます。安全に処理されるごみ処理に甘んじることなく、今一度、もったいないの意識を少しでも持って生活を見直してみたいものです。

大阪市環境局
 電話(06)6630-3113
<http://www.city.osaka.jp/kankyujigyo/>

※施設の見学は下記へ
 環境局 施設部 施設管理担当
 電話(06)6630-3353

UPPERS Co., Ltd. の英会話レッスンは、人の心を伝える「言葉」として "English" を考えています。

The English language is a device to express your feeling...

英語は「自分の気持ち」を表現する手段の一つです。「何かを伝えたい」という思いがあれば、誰もが話せるようになります。

体験・見学 随時受け付け中
 問合せ: UPPERS Co., Ltd. 音田 Tel. 06-6282-5138